

# 5 障がい者雇用 就職件数が7年連続で過去最高更新

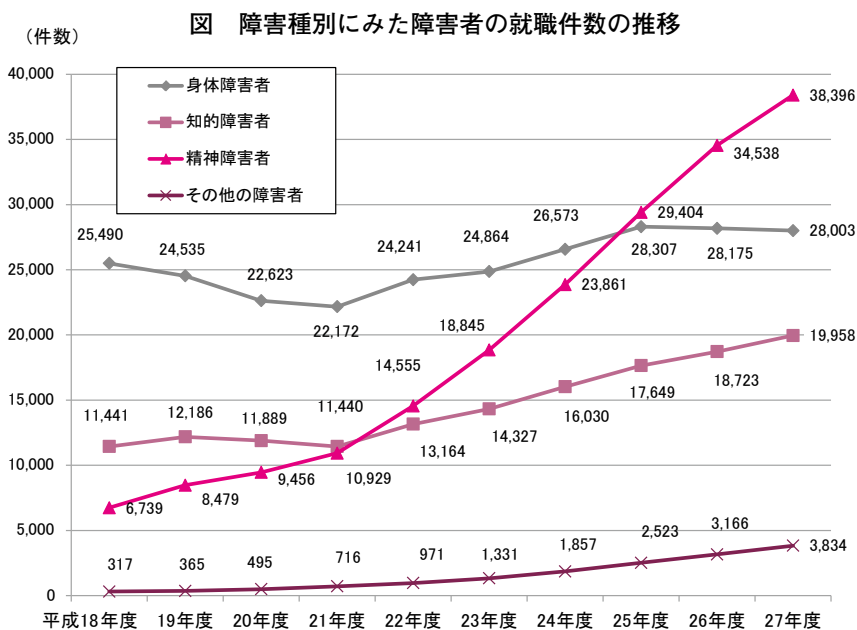
厚生労働省は5月27日、平成27（2015）年度の障害者の職業紹介状況を取りまとめて公表した。それによると、全国のアロワークを通じた障害者の就職件数は、平成26（2014）年度の8万4,602件から大きく伸び、対前年度比6.6%増の9万191件となり、7年連続で過去最高を更新した。特に「精神障害者」の就職件数は大幅に増加した。

## 精神障害者の就職件数が大幅増

アロワークを通じた障害者の職業紹介状況では、新規求職申込件数は18万7,198件で、対前年度比7,976件（4.5%）の増加となった。また就職件数は9万191件で、同5,589件（6.6%）の増加。就職率（就職件数／新規求職申込件数）は48.2%で対前年度比1.0%の上昇となっている。

就職件数を障害種別に見ると、特に「精神障害者」の就職件数が大幅に増加した。「身体障害者」の就職件数は、対前年度比0.6%減の2万8,003件となったのに対し、「精神障害者」は、同11.2%増の3万8,396件となった。「精神障害者」の就職件数が「身体障害者」の就職件数を大きく上回っている。また、「知的障害者」は、同6.6%増の1万9,958件、発達障害や難病などの「その他の障害者」は同21.1%増の3,834件となった（図）。

「精神障害者」の就職件数が大きく伸びている背景には、平成25年（2013年）に障害者雇用促進法が改正され、法定雇用率の算定基礎の対象に、新たに精神障害者を追加することが決まっていることがある（平成30年4月1



日施行)。厚生労働省担当者によれば、企業側が法施行を見越して積極的に精神障害者を採用している動向に加え、障害者側の社会参加の高まりも高い就職件数につながったのではないかとしている。

## 就職件数「医療、福祉」で4割弱

就職件数を産業別に見ると、「医療、福祉」（3万3,805件、37.5%）、「製造業」（1万1,933件、13.2%）、「卸売業、小売業」（1万1,577件、12.8%）での就職件数が多い。これを障害種別に見ても同様の状況だ。対前年度比で見ると、「農林漁業」（対前年度比10.8%減）は減少しているものの、「医療、福祉」（同14.8%増）、「公務・その他」（同11.1%増）は増加している。

職業別で見ると、「運輸・清掃・包装等の職業」（3万1,393件、34.8%）の割合が大きく、「事務的職業」（1万8,469件、20.5%）、「生産工程の職業」（1万1,599件、12.9%）、「サービス

の職業」（1万819件、12.0%）が続いている。

障害種別で見ると、「身体障害者」については「事務的職業」（7,542件、26.9%）の割合が、「知的障害者」については「運輸・清掃・包装等の職業」（9,718件、48.7%）が、他の障害種別に比べて高い状況となっている。

具体的に見ると、「身体障害者」は「事務的職業」（26.9%）で最も割合が高く、次いで、「運輸・清掃・包装等の職業」（24.8%）、「生産工程の職業」（11.4%）などとなっている。「知的障害者」は、「運輸・清掃・包装等の職業」が半数弱（48.7%）を占め、これに「生産工程の職業」（16.0%）、「サービスの職業」（14.1%）などが続く。「精神障害者」については、「運輸・清掃・包装等の職業」（35.8%）が最も高く、次いで、「事務的職業」（21.7%）、「生産工程の職業」（12.2%）などとなっている。

（調査・解析部）